奉祝　天皇陛下御即位

相模

第518号
令和元年10月1日

SAGAMI

相模 Contents

2 社頭動静　祭典・行事のご報告

4 特集 年年祭歳 時代と世代を超えた神事能

6 第50回 相模薪能

6 浜降祭・さむかわ神輿まつり奉祝パレード

7 令和元年 例祭斎行

8 例祭神徳奉賛金奉賛者芳名

9 例祭献灯者芳名・NY見聞録特別編

10 青少年だより

11 天皇陛下御即位 神輿渡御行事のご案内

12 寒川俳壇・相模詠草・人事

13 寒川病院だより

神嶽山神苑（かんたけやましんえん） ご案内

紅葉の季節を迎えました
森厳な神嶽山神苑にて
紅葉を楽しみつつ
和やかなひと時を…

神楽舞と雅楽

10月6日（日）、20日（日）午前11時・午後2時
（雨天時中止）

以降の予定は決定次第ホームページにてお知らせ致します

茶屋 和楽亭

季節のお菓子とお抹茶でおもてなし
午前9時30分～午後3時30分まで
（午後3時受付終了）
拝服料500円より思し召し

茶室 直心庵

毎月1日に限り特別に開庵します
どうぞご利用ください
◇午前10時30分／1席（約30分間）
◇午後1時30分／1席（約30分間）
各1席8名まで先着順
初めての方も
お気軽に茶の湯に親しんでください

●本年は12月13日にて閉苑となります

●神嶽山神苑への入苑は御祈祷を受けた方に限ります

祭典と行事のご案内

10月

15日 午前11時 人形感謝祭
17日 午前11時 神嘗奉祝祭
御大典記念展示
14日～11月25日 即位礼当日
22日 午前10時 神社に於て行う祭祀
午後2時 天皇陛下
御即位神輿渡御行事
明治祭
第52回菊花・写真展
臨時大祓

11月

3日 午前8時30分 第52回菊花・写真展
10～23日 午前8時30分 臨時大祓
12日 午前8時30分 御即位神輿渡御行事
14日 午前10時 大嘗祭当日
神社に於て行う祭祀
併せて新穀等奉納感謝祭
23日 午前10時 菊花写真並びに篤志奉献感謝祭
25日 午前10時 神嶽山神苑開苑十周年
奉告祭併せて献茶式

12月

14日 午前8時30分 煤拂祭
31日 午後1時 師走大祓式並大祓祈願祭並除夜祭
除夜祭後 神徳感謝祭

毎月 1日、20日 午前8時30分 月次祭

第52回 菊花・写真展

本年で52回を迎える菊花・写真展が11月10日～23日に開催されます。
近隣の菊花会より出品される豪華絢爛な菊花約350点、寒川神社の四季折々の様子を写した写真約120点が境内に展示されます。

▲平成30年宮司賞受賞作品

（写真展作品募集）

■開催時期　令和元年11月10日～23日
■題　　材　寒川神社に関係のある未発表の作品
■サ イ ズ　四ツ切・六ツ切・A4・B4・A5・B5サイズ（ワイド可）
■出品点数　1人5点以内
■応募期間　令和元年10月1日～27日
■入賞発表　令和元年11月上旬（入賞者へ直接連絡）

※作品の裏に住所・氏名・電話番号・題目・撮影年月日を明記のこと

問い合せ　寒川神社 写真展係　☎0467（75）0004

天皇陛下御即位奉祝事業 御大典記念展示

日時　令和元年10月14日（月）から11月25日（月）まで
午前9時から午後5時まで　※入場無料
場所　寒川神社境内　客殿1階特設会場
内容　御大典行事、湘南地域の大正と昭和の御大典記録、今上陛下と行幸写真などを紹介、DVD上映など

社頭動静

寒川さんの鈴の音（ね）

第6回相模塾

7月21日、第6回寒川神社相模塾が開催されました。

神道を通して日本の暮らし・伝統文化を再発見することを目的とし、平成29年に開塾した相模塾も今回で第6回目の講座を迎えました。神社職員を講師に「寒川神社の歴史」をテーマとして、古代から近世にかけて、当神社がどのような変遷を辿っていったのか、各時代の政治背景や地理・気候環境を踏まえて説明しました。

指定神社実習受け入れ

神職を目指し日々勉学に励む國學院大學（東京都）・皇學館大学（三重県）の学生6名の指定神社実習を受け入れました。

神職になるためには、さまざまな実習を受ける必要があり、机上の学習だけでは得がたい実務面での経験を積むことが目的の一つです。

学生たちは期間中、宮司講話・禊（みそぎ）行事・祭典奉仕助勢などの体験を通じて神職のあるべき姿を窺い知ることができたようです。今後の前途洋々たる未来をお祈りします。

平和祈願祭

終戦記念日である8月15日正午より末社宮山神社境内にある、平和の塔「和光」の前にて平和祈願祭が斎行されました。この平和の塔「和光」は戦後20年の節目であった昭和40年、永遠なる平和を誓い、宮山住民の総意により当神社境内神鹿苑内に建立されたものです。

「和光」の台は、八方除にちなみ八角、柱は三本で、それぞれ戦没者・遺族・国民の象徴し、上を支える玉は平和を表しています。平成22年に現在地に移り、今日を迎えています。

当日は、台風接近という悪天候ではありましたが、当神社責任役員、正副総代長、宮山自治会役員をはじめ、地元の方々が参列のもと、戦没者に慰霊の黙祷を捧げ、世界の恒久平和が祈念されました。

相模湘南支部祭式研修会

神奈川県神社庁相模湘南支部主催による年に一度の祭式研修会が國學院大學特別選任准教授・県神社庁祭式講師である小野和伸先生をお招きして、9月11日と13日に、寒川神社参集殿で開催されました。

神社で斎行される祭典において、それぞれの行事に必要な作法のことを「神社祭式」といい、歩き方や礼の角度など時と場合によって詳細な規程があります。

そういった基本動作を年に一度再確認し、日々の神明奉仕に活かすべく、約半世紀に亘り開催されています。本年は基本動作のほかに地鎮祭・上棟祭などの実践的な祭事・作法を学習しました。神職の本分ともいわれる「祭祀の厳修」を胸に刻み込む有意義な研修となりました。

やぶさめ教室

当神社流鏑馬（やぶさめ）神事復興50年を記念して始まった「やぶさめ教室」が9月15日に開催されました。今回で第3回目を迎え、お子様を中心に約800名の皆様のご参加をいただきました。

実際に流鏑馬射手（いて）が使用している弓を引くことができる体験コーナーや馬と触れ合える時間も設けられるなど、流鏑馬当日ではあまり間近で触れることができない体験ができ、神社境内は大変な賑わいをみせました。また、当神社が所有する流鏑馬神事奉仕馬「平安」号と「飛鳥」号の2頭が本番用の装飾をして目の前に現れ、参加した皆様は、本番とは一味違う穏やかな馬との交流を楽しんでいました。

寒川神社商工奉賛会 ベンチ奉納

この度8月25日、天皇陛下御即位奉祝事業の一環として、寒川神社商工奉賛会よりベンチ12脚をご奉納いただきました。寒川神社商工奉賛会は、全国各地の当神社を崇敬する商工業を営んでいる方、および会の趣旨に賛同する方々で組織され、寒川大明神の御神徳をいただき、企業の繁栄を祈り神恩感謝するとともに、当神社の御社頭の隆昌に寄与することを目的として活動を行っております。

ご奉納いただきましたベンチは、ご参拝の方々が休憩する神社境内 神鹿苑に設置され、心和やかにご参拝できる雰囲気を一層高めることが叶いました。

有村治子氏ご参拝

7月26日、参議院議員の有村治子氏が正式参拝されました。正式参拝の後、神嶽山神苑を見学され和やかなひと時をお過ごしいただきました。

祭典・行事のご報告

7月
- 5日 権宮司職舎改築工事地鎮祭
- 14日 浜降祭宵宮祭並遷霊祭
- 15日 浜降祭
- 16日 虫送り祭
- 21日 第6回相模塾

8月12～18日 國學院大學・皇學館大学 指定神社実習受け入れ
- 15日 〃 平和祈願祭
- 〃 第50回相模薪能
- 19日 神社庁相模湘南支部総会
- 25日 寒川神社商工奉賛会 奉納ベンチ清祓

9月
- 1日 寒川神社全総代会
- 2日 社務所地階改修 三期工事竣功清祓
- 8日 権宮司職舎改築工事上棟祭
- 11日・13日 神社庁相模湘南支部 祭式研修会
- 15日 やぶさめ教室
- 19日 商工祈願祭並献灯奉告祭
- 〃 寒川神社商工奉賛会年次総会
- 〃 例祭宵宮祭
- 20日 流鏑馬神事
- 〃 例祭
- 23日 安藤由勝大人命 伊集院直彦大人命 他命等の慰霊祭
- 〃 末社御祖神社秋季霊祭並合祀祭
- 29日 末社宮山神社例祭
- 30日 高座氏子総代会総会

毎月1日・20日 月次祭（9月20日は除く）

［写真］④やぶさめ教室　③相模湘南支部祭式研修会　②平和祈願祭　①第6回相模塾

狂言「二人袴」

記念表彰

こども奉納連吟

能「國栖」

半能「石橋」

記念対談

時代と世代を超えた神事能

第50回相模薪能

去る8月15日に第50回相模薪能が開催され、境内特設能舞台に集まった1300名を超える観覧者を前に、観世流能「國栖（くにす）」、和泉流狂言「二人袴（ふたりばかま）」、観世流半能「石橋（しゃっきょう）」が披露されました。

相模薪能は、終戦記念日に因み、祖国の英霊と戦争犠牲者の御霊をお慰め申し上げ、世界の恒久平和を祈る神事能であり、神社単独主催で昭和45年より開催されています。

また本年は、50回目の開催を記念する式典が演能に先立ち開催され、50年の功績を称え、能楽師・正副奉行（ぶぎょう）・協賛者など10名に感謝状が授与されました。

その後、当神社利根宮司と能楽師の中森貫太氏・野村萬斎氏による記念対談が催され、野村氏は「能楽650年の歴史の中で（相模薪能の50年という長さは）正に1ページを飾るといっても良い長さである。是非100年続けていただければ、徐々に能楽の歴史そのものになっていくであろう」と伝統文化継承の重要性を訴えられました。

対談後、演能の初番として、当神社の青少年育成活動の一環である寒川神社少年館の子どもたち20名が揃いの袴（はかま）姿で連吟を披露しました。館生たちはこの日のために、約1年前より中森氏よりご指導いただき本番に臨みました。

昭和、平成、令和と受け継がれてきた相模薪能。能楽師の中森氏・野村氏もご尊父の時代から出演され、近年はご子息も出演されるなど、親子三代に亘ってご奉仕いただいています。まさに時代と世代を超えた寒川の夏の恒例行事として、半世紀を迎えることができました。

子どもたちはもちろんのこと、戦争を知らない世代が増える中で、穏やかな日常と現在の平和を享受する私たちにとって、真の平和を振り返ることができる機会として、相模薪能の神事としての本質が次世代へ継承され続けることを切望する一日となりました。

第50回　記念表彰者芳名

（敬称略）

【能楽師】

○中森　貫太
（観世流シテ方・通算43回出演）
○野村　萬斎
（和泉流狂言方・通算35回出演）
○國川　純
（高安流太鼓方・通算46回出演）
○小寺　佐七
（観世流太鼓方・通算40回出演）

【奉行・副奉行】

○寒川町長
木村　俊雄（通算30回奉仕）
○茅ヶ崎市長
佐藤　光（通算29回奉仕）
○寒川町商工会会長
内野　晴雄（通算35回奉仕）
○茅ヶ崎商工会議所会頭
亀井　信幸（通算36回奉仕）

【パンフレット広告協賛者】

○㈲田中写真（通算49回協賛）
○㈱市川（通算49回協賛）

※通算回数は第49回までの回数。
※奉行・副奉行は、現職の方に授与。

記念対談（抜粋）　宮司、中森貫太氏、野村萬斎氏

◎相模薪能の趣旨と込められた想い。

宮司　相模薪能は昭和45年に先々代の瀧本宮司が始めたもので、終戦後の悲惨な状況や皆さんの大変な生活を憂い、少しでも元気を出してもらいたいとの思いとともに、8月15日に英霊の御霊をお慰めするという意味も込めて始められました。そういった思いで始まった薪能が、本日50回を迎えたということで、本当に感慨深いものがあります。

◎50年という歴史について。

中森　第1回目に子方として出演して以来、50年間ほぼ毎年出演させていただいています。父がお世話になり、親子三代でお世話になっています。純粋な「御神事」としての薪能に50年出演させていただけることは、本当に光栄なことだと思っています。

野村　私も、父、私そして息子とお世話になっております。お客様も、ご用意くださる神職の方たちも一緒になって、50年続いている。能楽650年の歴史の中で（相模薪能の50年というのは）まさに1ページを飾るといっても良い長さだと思います。是非100年続けていただければ、徐々に能楽の歴史そのものになっていくということだと思います。

◎寒川神社の舞台ならではの魅力。

中森　何よりも雰囲気が静かです。その中で、こういう舞台が務められるというのは本当に良い環境だと思います。以前は、神門の外に舞台がありましたが、新しい御社殿の御造営が終わり、現在の場所で、より良い環境でご覧いただけるようになりました。お客様のことも考えられた、本当に素晴らしい薪能だと思います。

◎通常の舞台とは違う、ご苦労。

中森　やはり天候の心配があります。装束の取り合わせも何種類も持ってきて、雨が降りそうな時はこちらとか、やらざるを得ないというところもあります。そして、何より暑い。ただこの薪能の中で演じるには自分の体調管理も含めて、皆さんに良いものを見ていただきたい、それを維持するのに苦労している部分もあります。

◎ご尊父様とのエピソード。

中森　1回目に子方で「船弁慶」を務めました。経験もあったので油断していたところ、舞台上で絶句してしまい、思い切り怒られたことを強く覚えています。油断大敵ということを心に叩き込んだ1日だったというのが一番の思い出です。

◎伝統文化を継承する中で、大切にされていること。

野村　基礎については、先達が磨いてきたものをきっちり継承しながら、時代も変わるところがあるので、「アップデート」することも多少は必要です。ただ闇雲にアップデートすれば良いものでもないので、本質「何を以て能とするのか」というところを、まずは身を以て体現できるようになるというところが重要かと思います。

◎親子共演ならではの難しさ・楽しさ。

野村　親子共演のときは、息子のことが気になる、よって自分の演技が疎かになることもありますが、逆に良いところは「阿吽の呼吸」という意味では息が合いやすいということはあります。

◎日本の伝統文化が秘めている可能性。

野村　伝統文化というのはそれだけの洗練を受けていて、神社にお参りに行くというのも一つの伝統だと思います。そこには先人たちが作ってきた知恵や生きる工夫みたいなものが盛り込まれています。ですから、そういう伝統ならではの知恵を、如何に自分のために身に付けるかですね。伝統というものが、演じる者もご覧いただく方にも有用であると一番幸せなことだと思います。

◎今後の相模薪能の姿。

宮司　中森さんも野村さんも、親子三代でご奉仕いただいている、本当にありがたいことだと思います。

今から50年前というのは、寒川神社にとって大きな転換期であったようにも思います。流鏑馬神事の復興や、菊花写真展の開催、寒川病院の運営など、地域の皆さんとともに始まったさまざまなことが、ここ数年で50周年を迎えています。これは、常日頃より神社にお参りし、足を運んでくださっている方々のお陰であると思います。

世界では今もいろいろなことが起こっていますが、この薪能を通じて世界の恒久平和について考えていただければ幸いです。昭和の御代に始まった相模薪能が令和まで続いてきました。今後も100年200年と長く皆様に楽しんでいただきたいと思っています。

奉祝　天皇陛下御即位

浜降祭・さむかわ神輿まつり 奉祝パレード

茅ケ崎市「南湖の浜」で海の日の7月15日、当神社をはじめとする寒川町・茅ケ崎市の神社の神輿が一堂に会して浜降祭が斎行され、担ぎ手の気勢と7万人以上の人出で、砂浜は熱気で埋め尽くされました。

浜降祭は海水で神輿を祓い清め、さらなる御神威を授かる神事とされており、深夜に各神社を発輿した神輿が夜明けとともに海岸に参集する勇壮ぶりから「暁の祭典」とも呼ばれ、県の無形民俗文化財に指定されています。

両市町に鎮座する34社から、子供神輿を含む39基の神輿がそれぞれ深夜に発輿した後、夜明けとともに、南湖の浜の祭場に参集し、寒川神社を斎主として祭典を斎行しました。

また、祭典終了後には、寒川町内の4社（寒川神社・菅谷神社・倉見神社・八幡大神）の神輿が寒川駅前公園に集結し、「まつり」と「みこし」を後世に伝えるべく「さむかわ神輿まつり」が開催され、御神威も新たな神輿が乱舞して町の活性化を図るとともに、東日本大震災と九州・熊本地震の被災地復興を祈念する祈願祭を斎行しました。

さらに本年は、今上陛下の御即位を奉祝し、同公園から当神社までの道のりで県立湘南台高等学校吹奏楽部「White Shoot ing Stars」総勢150名が先導する奉祝パレードが挙行されました。

演奏の迫力と神輿の威勢に、沿道で日の丸を振る大勢の人々も一同に盛り上がり笑顔が溢れ、まさに佳節に相応しい盛大な浜降祭となりました。

県立湘南台高等学校吹奏楽部に出迎えられる神輿

奉祝パレード

さむかわ神輿まつり 復興祈願祭

浜祭場にて

令和元年 例祭斎行

例祭「浦安の舞」

献茶

奉納演芸大会

例祭「修祓」

流鏑馬神事

万灯パレード

例祭「退下」

神輿渡御

去る9月19日・20日、寒川大明神の御神恩への感謝と氏子崇敬者のご隆昌を祈願する、当神社における年間祭典の中で最も重儀である例祭が、盛大且つ厳粛裡に斎行されました。

19日は午前10時より、神池橋前に例祭を奉祝して約180灯の提灯を献灯された方々のご健勝と、寒川大明神を崇敬する全国の商工業者で組織されている寒川神社商工奉賛会の会員各位の事業繁栄を祈る商工祈願祭並びに献灯奉告祭が斎行されました。

午後2時からは、流鏑馬神事が奉納されました。当神社の流鏑馬神事は神職が実際に奉仕することが大きな特徴であり、本年は3名の神職が射手として奉仕し、天下泰平・五穀豊穣が祈念されました。的が射抜かれるたびに大歓声が沸き起こり、馬上にて矢を放つ射手の妙技に惜しみない拍手が送られました。

翌20日の午前10時には、神社本庁よりの幣帛を奉り、例祭が斎行されました。責任役員、氏子総代、町内関係者をはじめ全国各地から多数の崇敬者が参列されました。御神前では巫女4名による神前神楽「浦安の舞」が流麗かつ厳かに奉奏され、寒川大明神の御神恩に感謝の念を込めつつ、大前に玉串が捧げられました。

また両日に亘り、境内各所にて献茶・献花・献句・盆栽展・水石と美石展・奉納演芸・神輿渡御・立正佼成会による万灯パレードなどの神賑行事が行われ、大勢の参拝者で賑わいました。当神社の巫女も献茶・献花をご奉仕させていただき、日頃のお稽古で育んだおもてなしの心を改めて認識することができる有意義な機会となりました。

例祭をお祝い申し上げるにあたり、ご協力いただきました皆様には厚く御礼申し上げますとともに、寒川大明神の御神徳をいただかれますよう祈念致します。

令和元年 例祭神徳奉賛金奉賛者芳名

［宮　山］

馬場　天利　信夫　殿　外28名　二九、〇〇〇円
下　佐藤登幾継　殿　外64名　七一、〇〇〇円
雷　小池　健夫　殿　外16名　一七、〇〇〇円
根岸（上）　海老原　透　殿　外26名　三〇、〇〇〇円
根岸（中）　山下　一男　殿　外7名　八、〇〇〇円
根岸（下）　宮川　里司　殿　外37名　四四、〇〇〇円
オリーブの丘　白井　秀信　殿　一、〇〇〇円
旭（東）　北村　泰啓　殿　外16名　一七、〇〇〇円
旭（西）　杉山　浩章　殿　外27名　二六、五〇〇円
上合　金子　弘美　殿　外20名　二九、〇〇〇円
中里（上）　皆川　秀明　殿　外30名　八〇、〇〇〇円
中里（下）　三井　尚久　殿　外34名　六四、〇〇〇円
中里（河原）　東出　陽子　殿　外19名　二四、〇〇〇円
中里（サザン）　佐藤　隆治　殿　外6名　六、五〇〇円
南　高橋　文夫　殿　外9名　二九、〇〇〇円

［一之宮］

火の見下　吉川　精二　殿　一〇、〇〇〇円
鳥井戸2　森口　恭一　殿　外9名　一〇、〇〇〇円
富士見町　郡司　旭　殿　一、〇〇〇円
仲町1　山本　新　殿　外6名　七、〇〇〇円
西町西1　加藤美代子　殿　外19名　二〇、〇〇〇円
西町西2B　谷島　俊郎　殿　五、〇〇〇円
新道　村田　富雄　殿　外1名　二、〇〇〇円
宿1　横溝　吉香　殿　外6名　七、〇〇〇円
宿2　鳥海　芳江　殿　外8名　九、〇〇〇円
宿4　関　英明　殿　外8名　三、〇〇〇円
東1　木村　修　殿　外7名　八、〇〇〇円
東3・5B　高木　大介　殿　外6名　七、〇〇〇円
東4　荒井　俊晴　殿　外1名　二、〇〇〇円
小町屋1～3　高橋　博　殿　外11名　一三、〇〇〇円
仲町2　天利　信幸　殿　外3名　四、〇〇〇円
目久尻　福田　圭治　殿　五、〇〇〇円

［西岡田］

根下　二ノ宮雅一　殿　外1名　一〇、〇〇〇円
大塚原　旭　松雄　殿　五、〇〇〇円

［東岡田］

久保地　内藤　一三　殿　外6名　二一、〇〇〇円
仲町　三澤　芳彦　殿　外8名　一五、〇〇〇円
上町　佐藤　嗣雄　殿　外5名　一〇、〇〇〇円
仲町原　倉持　十士　殿　外3名　四、〇〇〇円
上町・下町　三留　勝弥　殿　外9名　一〇、〇〇〇円

［岡田新町］

南駅前通　三堀　昇　殿　外1名　五、〇〇〇円
東通　内野　広志　殿　三、〇〇〇円
南2　金澤　純一　殿　外1名　四、〇〇〇円

［小　谷］

西北　山口　明伸　殿　外1名　八、〇〇〇円
原1　藤井喜代治　殿　外3名　九、〇〇〇円
原2　青木　照夫　殿　外3名　四、〇〇〇円
東1　三澤　敬機　殿　外2名　三、〇〇〇円

［大　蔵］

入町　門倉　敏明　殿　外3名　四、〇〇〇円

［倉　見］

大村（西1）　田代　満　殿　外9名　一八、〇〇〇円
大村（西2）　井上　花子　殿　外11名　二〇、〇〇〇円
才戸（南）　松下　広正　殿　外36名　二八、五〇〇円
才戸（東）　上田　幸二　殿　外15名　一五、五〇〇円
才戸（西）　島田　敏樹　殿　外23名　二五、〇〇〇円
原（南）　小林　寿　殿　外10名　二二、〇〇〇円
原（北）　高橋ふじゑ　殿　外6名　七、〇〇〇円
十二天（北）　藤澤　豊治　殿　外6名　一四、〇〇〇円
十二天（第一）　岡崎　富雄　殿　外12名　一四、〇〇〇円
新町・入町　今野佐治右衛門　殿　外12名　一三、〇〇〇円
南町　須田　一夫　殿　外11名　一一、〇〇〇円
西町　川上　勇治　殿　外18名　一九、〇〇〇円
川端（東）　赤木　義雄　殿　外2名　三、〇〇〇円
桜町（上）　藤本　忍　殿　外4名　八、〇〇〇円
桜町（中）　椎名　光博　殿　外5名　八、〇〇〇円
桜町（下）　山崎　晴男　殿　外1名　二、〇〇〇円

［天　曲］

中村　光良　殿　外24名　三四、〇〇〇円

［田　端］

東町　吉澤　喜作　殿　外15名　一六、〇〇〇円
宿町　石黒　良行　殿　外25名　二六、〇〇〇円
西町　井上　征治　殿　外19名　二〇、〇〇〇円
神之倉　舛水　行正　殿　外16名　一七、〇〇〇円

［小　動］

小動　蛭田　昌　殿　外19名　二〇、〇〇〇円

［講　社］

墨東寒川講　伊藤　國雄　殿　外4名　二五、〇〇〇円

［匿　名］

一三一、〇〇〇円

令和元年 例祭献灯者芳名

入澤　一三
中島　啓介
前田　隆一
松本　學
金子　昭
横溝　隆義
河西工業㈱
下里自動車㈱
㈱カナリヤ
㈲寒川建材
東木材㈱
㈲田中写真
㈱青葉
青山大寿司
㈱アサヒファーマシー一之宮薬局
アズビル㈱湘南工場
㈱ウスイ植物園
㈱内野不動産
㈱梅屋幸
㈱オーカワ
㈱金子建材土木
千寿会　きくの郷
㈱金庫屋商店
㈱グランドライン・マルシゲ
㈱コーメー
小菅　千鳥
寿重機㈱
㈲サダコ美容室
寒川病院
寒川町観光協会
寒川町商工会
㈱サンエーサンクス
湘南信用金庫 寒川支店
㈲湘南ライン
昭和興産㈱
神恵苑
生長園
大黒屋製菓
瀧川園茶舗
露木生花
戸塚米店
とんかつ水龍
中沢運輸㈱
日本精麦㈱
㈱張替工業
㈱フルモト
㈲古山看板塗装
豊月堂
村松商事㈱
森村ケミカル㈱
㈱山上工務店
ヨシカワ洋品店
レンゴー㈱湘南工場
㈱アークル
秋山商事㈱厚木支店
㈱秋江
㈱アクティオ
㈱アイアール
安藤物産㈱
㈱市川
㈱植藤造園
㈲大島寅次郎商店
㈲大角塗装工業
大村紙業㈱
㈲香川第一交通
㈱神奈川中宣
㈲カネヤ商会
川本工業㈱県央支店
㈱北岡本店
熊澤酒造㈱
コカ・コーラボトラーズジャパン㈱
㈱さんこうどう
㈱サンユー
㈱ジェイコム湘南・神奈川
㈱シノハラ
㈱湘南
㈱湘南ビューティブライダル
㈱湘南山鉄
鈴木徹章工芸㈱
㈱鈴木製餡所
綜合警備保障㈱湘南支社
㈱ダイワ・エム・テイ
㈱竹澤古典建築設計事務所
㈱竹中工務店 横浜支店
㈱永沢興業
長嶋園
中野設計工務㈱
㈲ノブ・リライアブル
㈱長谷川製作所
日立オートモティブシステムズ㈱
人の森㈱
㈱ヒラボウ
㈲平成工業
㈲ボデーショップ浜名
丸高工業㈱
百崎製菓㈱
横浜貨物綜合㈱
㈱横浜銀行 茅ヶ崎支店
㈱落雁　諸江屋
山一工業㈱
㈱レンブラントホテルマネジメント
㈱アイネット
㈲青木商事
旭ファイバーグラス㈱湘南工場
㈱アサヒファシリティズ 横浜支店
㈱阿部
㈲今井　今井　章博
石窯ガーデンテラス
医療法人社団　芳晴会
愛児レディースクリニック
㈲臼井青果店
㈲及川工業
壁島工務店
関東建物㈱
北村工務店
㈱晃和ディスプレイ
㈱工房えむま
㈲寒川公衆衛生社
寒川ロータリークラブ
寒川ローンテニスクラブ
㈱JTB
柴崎　徹・久惠
㈲鈴野農機
㈱高田
㈱タカトープランナー
㈱THコーポレーション
㈱テクノス三和
㈲テニスパーク湘南
㈲破魔矢奉製所
二見　ミツ子
日本ロードマーク㈱
のぞみ針灸整骨院
松井建設㈱
㈱眞原電工
㈱三井紙店
㈲三井住友銀行 湘南法人営業部
㈲ミツワ企画
㈱森川製作所
㈱結商会
㈱レスポアール
ローソン・スリーエフ寒川宮山店
匿名

（順不同・敬称略）

NEW YORK 見聞録

寒川神社 権禰宜　中西正史

特別編

「神道 ― 日本美術における神性の発見について」クリーブランド美術館にて開催

アメリカ合衆国オハイオ州にあるクリーブランド美術館では、4月9日から6月30日まで「神道展」が開催され、6月16日には当神社をはじめ今回の神道展に協賛した各神社に対しての記念式典が開催されました。当日は当神社の利根宮司の他に、神社本庁田中恆清総長（石清水八幡宮宮司）、宮地嶽神社浄見譲宮司などが出席し、田中総長による神社神道の概要や神仏習合の信仰形態の実態などの説明の後、感謝状の贈呈式が行われました。

オハイオ州・クリーブランド美術館

贈呈式

今回の特別展「神道―日本美術における神性の発見について」では、日本国内の重要文化財20点を含む75点の資料と、アメリカ国内の美術館所蔵の神道美術品、合わせて125点が展示されました。実施にあたっては奈良国立博物館、東京・九州の国立博物館の協力を仰ぎ、今から43年前に京都国立博物館主催によりニューヨーク、シアトルで開催されて以来の大規模な神道展となりました。

また本展について日米の主要メディアより「八百万の神など日本文化が多面的な魅力と潜在力を放った企画であった」、「神と崇敬者の交流という原則的なものに焦点を当てることに成功した展示会であった」などの講評をいただきました。他宗教を宗教的シンボルで捉える傾向の強いアメリカ社会に対して、神仏習合思想の下で育まれた神道における神々の姿を示すことにより、神道というものへの理解の深化に繋がっていく有意義な展示でありました。

館内の様子

《神輿渡御》
寒川町内4社（寒川神社、菅谷神社、倉見神社、八幡大神）の神輿が、寒川駅前公園から寒川神社までの間を渡御致します。

奉祝 天皇陛下御即位 神輿渡御行事

天皇陛下の「即位礼正殿の儀」当日に、寒川神社においても奉祝行事を盛大に開催致します。多くの皆様とともに御即位をお祝い申し上げましょう。

令和元年 10月22日（火）

【主 催】
天皇陛下御即位奉祝神輿渡御行事委員会
（共催 寒川町観光協会）
【お問合せ先】
寒 川 神 社 ☎0467-75-0004
寒川町観光協会 ☎0467-75-9051

交通規制については本誌 裏表紙をご覧ください

神輿渡御
14:00 開会式（寒川駅前公園）
※開会式後に神輿が出発
16:30頃 寒川神社に到着
<経路> 寒川駅前公園 → 寒川郵便局前 → 寒川神社参道 → 寒川神社境内

遠州新居 手筒花火
17:00 寒川神社境内外庭にて披露
※雨天決行

炎太鼓 演奏
16:00頃 神輿が寒川神社境内に入る頃より演奏
17:30 寒川神社境内外庭 特設舞台にて演奏
※雨天決行

※その他、境内において御即位に関する展示会も開催しております

《炎太鼓 演奏》
昭和61年の結成以来、石川県白山市を拠点に活動している太鼓演奏グループ。女性ならではの「繊細な美」と「情念」の表現を目指し、結成直後より海外の舞台に進出し、日本の太鼓を世界に向けてアピールしています。（一般財団法人 浅野太鼓文化研究所所属）

《遠州新居 手筒花火》
静岡県湖西市にて行われている遠州新居手筒花火は、作成より竹切りから黒色の火薬を詰めるところまで全て地元でまかなわれており、伝統技術やお囃子なども手筒花火とともに受け継がれています。笛、太鼓、ほら貝が鳴り響きながら、1度に何本もの手筒花火が林立し、他の地域では見ることのできない独特な花火です。

青少年だより

少年館 令和元年度夏季錬成会

少年館では7月22日・23日の2日間、長野県伊那市の「国立信州高遠青少年自然の家」において夏季錬成会を実施しました。寒川神社を参拝後2台のバスに分乗し、いざ長野方面へ。まずは御柱祭でも有名な諏訪大社上社本宮に到着し、正式参拝の後、神社の由来や境内の建造物、御柱の説明をいただきました。参拝の後は諏訪湖間欠泉センターへと移動し、間欠泉の噴出を見学しました。その後、諏訪湖遊覧船へ乗り、諏訪湖の景色を楽しみました。

宿泊先の自然の家では、予定していた散策は雨のために中止となってしまいましたが、室内運動場にて運動会を行い、チーム一丸となって競い合いました。翌日には雨もあがり、退所式後はそば打ち体験を行う「おっこと亭」へ向かいました。館生それぞれが一生懸命に打ったそばを笑顔でいただき、帰路へとつきました。

今回、低学年の館生をまとめあげた高学年の成長と、協調性を高め、他者への気遣いを学んだ館生の今後の活躍が期待できる有意義な錬成会となりました。

ボーイスカウト発団45周年記念 台湾キャンプ

ボーイスカウト寒川第2団では、発団45周年を記念して、発団以来初の海外キャンプとなる台湾キャンプを、8月2日より6日にかけ4泊5日で実施しました。

参加者は指導者16名・カブスカウト8名・ボーイスカウト16名、合わせて40名の一行です。快く受け入れてくださったのは、以前より交流のある台北市第360団でした。台北市360団は、ホームステイ受け入れ家庭をはじめとした約60名と、それに団委員・関係者が集まり、総勢100名以上の大規模な交流キャンプとなりました。

キャンプ2、3日目は、日本と台湾のスカウトが一緒の班を編成し、陽明山という山で1泊2日の合同キャンプを行いました。オリジナルＴシャツ作りと木登りの活動、夜にはキャンプファイヤーで盛り上がり、翌日は滝まで片道2キロのハイキングを実施し、絆をより深めることができました。3日目の夕方から5日目の朝までは、スカウトたちは2人1組になり、各ホームステイ先で活動を楽しみました。最終日、ホームステイ先からスカウトたちが集合の後、小学校の校内でターザンロープ、水餃子作りを体験、また小学校周辺を散策して活動を行いました。午後からは別れが名残惜しく涙するスカウトもいる中、台北松山空港へと向かい、5日間の行程を終えて無事、帰団しました。

今回のキャンプでは、文化の違いや言葉の壁、初の海外キャンプということもあり、スカウトも戸惑うことがいくつもあったかと思いますが、今振り返るとそれ以上に掛け替えのない貴重な経験がスカウトひとりひとりにできたのではないかと思います。

このキャンプにより、スカウトたちがより頼もしくなることを期待したいと思います。

動静

7月
7日 育成総会（BVS・CS・BS・VS・RS）
育成総会（少年館）
15日 神輿パレード
国旗持ち奉仕（BS）
19日 終業式（少年館）
22~23日 夏季錬成会（少年館）
27日 水泳訓練（CS）

8月
2~6日 発団45周年記念
台湾交流キャンプ（CS・BS）
18~19日 富士登山（VS）
22~23日 お泊り会（少年館）

9月
3日 始業式（少年館）
22日 江の島探検（CS）

スカウト募集中！
小学1年生以上の男女
問合せ…寒川神社少年館
☎0467-74-0551

寒川俳壇

甚平や膝の赤子をもてあます　宮入　つる
リハビリの汗して一歩一歩かな　石原美枝子
駄菓子屋の話題は宿題夏惜しむ　飛石　槿花
送り火や母の足音遠ざかる　倉谷　節子
花火師の冥利に尽きる仕掛かな　根岸　君子
豊作は風ささやき稲の花　原野　楽天
思ひ出を語る一夜（ひとよ）の盆供養　岩田美代子
立秋や暦の知慧を肌で知る　伊藤　公一
夏掛けをけとばし直す闇の中　松本美智子
輪になって手花火囲む三世代　天沼　子平
懸賞を受けとる力士の玉の汗　菅沼うめの
吹く風に身を任せをる稲の花　新井　泰春
座布団を猫がよけくる暑さかな　菅沼　保幸
何よりの塩むすびなり草を刈る　猿渡　弥生
迫力は「第九」の如き蝉時雨　松村　信良
頭垂れ刈り入れ時を待つ稲穂　鈴木フミ子
汗の玉三歩あるけば三歩分　竹村真砂美

相模詠草

雨上がり朝日に光る水たまり肌にひんやり初夏の風　小林　篤子
終電車茅ヶ崎駅に吾を降し闇に消えゆく汐風乗せて　平野　良三
やまぬ雨を喜こぶカエルかにぎやかな合唱はじまる庭の葉陰に　土屋トミ子
朝方に夢に立ちたる亡き夫が若き日のまま語りかけくる　稲垣　武子
食べ頃をどこで知るのかカラスらは育てたトマトああ、ああ無念　山口　幸子
カラフルなドレスをまとい堂々と歌声ひびかすカラオケ大会　山根喜美代
あじさいを花瓶にさして十三日過ぎたというに今日も活き活き　安藤　慧
ギターを弾き歌を口ずさむ若者よ君は遠き日のわれにてあらむ　渡邉　唯夫
トリプルテニスは親子高齢者柔かなボールで共に楽しむ　亀山　文子
この年も「フリル」のやうな花びらを百余も重ね芍薬さけり　平澤まきえ
お隣の孫の庁言楽しけれ草取りしつつ癒されており　宮治友美枝
あじさいの藍に変わりゆく狭庭には蛙とび交う梅雨明け近し　徳江　道子
一日も早く良くなれ会に出て楽しい会話出来るを願う　岡元　芳子
寡黙なる父の好みしゆうすげの一日一花を律儀に咲かす　杉本　照世
十勝川白く光りて麦秋の平野の中を涯なく流る　瀧本三重子

人事

◆**退職**

〈寒川神社〉
巫女　佐藤　由菜
録事　田中　李歩
願いに依り職を免ずる
令和元年八月三十一日

〈参集殿〉
願いに依り職を免ずる　横川　結
令和元年八月三十一日

〈寒川病院〉
看護師　渡辺　靖子
規則に依り定年退職とする
事務職員　稲田　玲子
願いに依り職を免ずる
令和元年八月三十一日
准看護師　滝上ふき子
規則に依り定年退職とする
看護師　根岸　浩子
願いに依り職を免ずる
令和元年九月三十日

〈神恵苑〉
介護福祉士　山田　和宏
願いに依り職を免ずる
令和元年九月三十日

◆**採用**

〈参集殿〉
臼井　絵里
髙橋もも子
参集殿勤務を命ずる
令和元年九月一日

〈寒川病院〉
診療放射線技師　三次裕美子
看護補助者　福本ちづる
寒川病院勤務を命ずる
令和元年八月一日

病院だより

井内医師よりご挨拶

宗教法人寒川神社寒川病院　内科医長　**井内　卓二郎**

平成31年4月1日より寒川病院に内科医長として着任致しました井内卓次郎（いうちたくじろう）です。出身は神奈川県藤沢市で、寒川町は場所も近いため幼少期から「神社の町」として慣れ親しんでいます。

大学は関東近郊の医学部希望で埼玉医科大学に入学しました。卒業後は内分泌糖尿病内科の大学院に進学し、「ES細胞（胚性幹細胞）」から膵臓の膵島細胞の分化の研究、「LKB1」という蛋白質の中枢神経での糖代謝に関する作用の研究や、「Hypsizygus marmoreus」というキノコの抽出物の糖尿病予防効果などの研究をしていました。臨床テーマとしては主に糖尿病、内分泌疾患、臨床栄養の三本柱で活動をしてきました。

糖尿病は1型糖尿病や2型糖尿病だけではなく、妊娠糖尿病や二次性糖尿病、まれな遺伝子疾患まで症例が豊富であり、様々な経験を積ませていただきました。特に、CGM(持続グルコースモニタリング：Continuous Glucose Monitoring)やCSII（インスリンポンプ療法：Continuous Subcutaneous Insulin Infusion）・SAP（Sensor Augmented Pump）といった、デバイスを使った症例も数多く担当致しました。特に1型糖尿病・糖尿病合併妊娠で2回のご出産をSAP療法（インスリンポンプと皮下持続血糖モニタリングの併用）で経験された方は思い出深く、今でも思い出します。現在、当院ではそのような最新機器を使用する条件は整っていませんが、今後積極的に導入する予定であります。

内分泌疾患は主に甲状腺良性疾患（バセドウ病、橋本病など）、下垂体機能低下症、副甲状腺疾患（機能低下、亢進症）、副腎疾患（原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、クッシング症候群）の内科的治療や内分泌負荷試験（診断をするための検査）を行ってきました。今後当院においても内分泌負荷試験検査のための入院検査を増やしていきたいと思っております。

臨床栄養は約3年間大学病院の本院にてNST（栄養サポートチーム）リーダーとして携わっておりました。入院する患者様の栄養状態を把握し、適切な栄養管理を担当医にアドバイスする仕事になります。管理栄養士、薬剤師、看護師、言語聴覚士、臨床検査技師等のスタッフとチームを形成し、職種の壁をなくし、栄養の知識を増やすための勉強会などをしてきました。これからもその知識を当院にて役立てたいと思います。

私が大学病院から寒川病院に着任した理由は、実家に近いということだけではなく、地域に根差した医療を志しているからです。糖尿病や内分泌疾患という専門性の強い疾患をみつつ、総合診療内科専門医として経験を積み、「Common Disease（ありふれた疾患）」をより多く診察をしたいと思いました。大学病院では「専門性」を学ぶことができることが利点ではありますが、専門分野に細分化されており自分の専門分野以外は診察する機会がどうしても少ない状況でした。寒川病院で寒川町の住民の皆様の健康維持に寄与できるように頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

医療講演会のご案内

講師
外科・消化器科　医長
石過孝文

日時　令和元年
10月31日㈭
14:00～15:00

場所　**寒川神社 参集殿**

入場無料・申込不要

10月・11月の予定は
寒川病院HPでご確認ください
www.samukawabyouin.com
寒川病院

井内医師診療日

	月	火	水	木	金	土
午前				○		2・4週
午後	◎	○				

（◎月曜日午後　糖尿病専門外来）

天皇陛下御即位「令和の御大礼」

令和の御代に、
国旗を掲げましょう。
祝祭日には、ご家庭の玄関に
日本の国旗を掲げましょう。

～美しい風習を育てつつ、よりよき社会、
より豊かな生活を築きあげるために、
ここに国民こぞって祝い、感謝し、
又は記念する日を定め、これを
「国民の祝日」
と名づける～
（国民の祝日に関する法律より）

国旗のお求めは、当神社の授与所にて
1組2500円にて授与しております。

祝祭日には国旗を掲げましょう

【題字】
神社本庁 総長　田中恆清
【表紙写真説明】
第50回相模薪能

『木　札』 月次祭にご参列された方などにお頒けする木札です

神無月「10月」　霜月「11月」　師走「12月」

【通行止めのお知らせ】

天皇陛下の「即位礼正殿（せいでん）の儀」当日に、奉祝神輿渡御を執り行うため、左記のとおり、通行止めを実施致します。皆様の深いご理解と迂回等のご協力をお願い申し上げます。

◎交通規制区間（左図赤破線）
町道岡田宮山16号線「岡田」交差点～「寒川町役場前」交差点

◎通行止め日時
令和元年10月22日（国民の祝日）　14時30分～15時30分

14時30分～15時30分 通行止め区間

※神輿渡御が役場前交差点を通過しだい、速やかに規制を解除します。

編集後記

本年も残すところ、3ヶ月となりました。10、11月は即位礼正殿の儀、大嘗祭が斎行され、令和の御大礼における大きな諸儀式を迎えます。昨年から続いております御皇室の多くの行事と日本各地の神社の奉祝行事に対して、世間の関心が高まっており、新聞等でも毎日のように記事を拝見しております。このような日本の国振りと、さらには神社を身近に知ることができる「令和の御大礼」を契機に、さらなるご興味を神社に向けていただければ幸いに存じます。（俊）

第518号　令和元年10月1日
発行所：寒川神社社務所
〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山3916
電　　話：0467（75）0004㈹
編集責任者：小野 俊之
印　刷　所：株式会社 さんこうどう
http://www.samukawajinjya.jp

次号『相模519号』は令和2年1月1日(水)に発行します

JR相模線 宮山駅より徒歩5分。圏央道 寒川北ICより1km。

本誌のバックナンバーは当神社HPよりダウンロードできます。